

報道関係各位

2017年11月16日

**「世界トイレの日」に向け、インド市場のニーズに対応した
新モデル「SATO Vトラップ」を発表
インドにて10ドル以下で提供を開始、屋外排泄の防止に貢献**

株式会社 LIXIL グループ（本社：東京都千代田区、社長：瀬戸欣哉、以下 LIXIL グループ）は、11月19日の「世界トイレの日」を前に、開発途上国向けに水まわり製品を展開する SATO ブランドの新モデル「SATO V トラップ」を発表し、インドの複数の州で提供を開始しました。新モデルはインド市場のニーズに対応し、特に農村部や都市周辺部における衛生環境の改善につながるソリューションです。

SATO ブランドの製品は、現在、サハラ砂漠以南のアフリカや南アジアを中心に、広い地域で使用されており、世界で約 600 万人以上の衛生環境の改善につながっています。LIXIL グループの主要ブランドの一つである American Standard が、2012 年に SATO の初代モデルを開発しました。シンプルな構造ながら、カウンターウェイト式の弁が開閉し、この弁が蓋の役割を果たすことから、悪臭や病原菌の媒介となる虫の進入を防ぎ、トイレの快適性と安全性を高めています。提供する国やモデルによって価格は異なるものの、10 ドル以下という低価格を実現しています。



2ピットシステムに対応する「SATO V トラップ」の現地での施工の様子

画期的な新モデル「SATO V トラップ」

「SATO V トラップ」は、インド政府が推奨する 2 ピット（便槽）システムと呼ばれる仕組みに適合しつつ、持続的なトイレの利用阻害要因を排除するように設計されています。インドでは、2019 年までに、国内の屋外排泄根絶を目指す政府の施策「スワッチ・バーラト（クリーン・インド）・ミッション」の導入に伴い、毎日約 47,000 台のペースで、トイレの建設が進んでいます。インドでは約 5 億 5,000 万人が屋外排泄を行っていましたが、これにより、この人数は推定 3 億 2,000 万人に減少しました。

新モデル「SATO V トラップ」は、独自のカウンターウェイト式の弁による節水性に加え、ジャンクションボックスの機能を搭載しています。インドで採用されている 2 ピットシステムでは、2 つのピットのうち、一方に汚物が流れる仕組みになっています。1 つ目のピットが満杯になると、排水管の分岐点にあるジャンクションボックスの流れを切り替え、空いている 2 つ目のピットに汚物が流れるよう変更します。2 つ目のピットが満杯になる頃には、1 つ目のピットに溜まった排泄物は乾燥して堆肥となり、農地に還元することができるシステムです。2 ピットシステムでは、従来、排水管が途中で Y 字型に分岐する方式が採用されていましたが、設計面での問題や施工者の技能不足といった理由から、ピット間の流れを切り替えるこのジャンクションボックスが正しく機能せず、切り替え作業に時間がかかったり、詰まりやすかったりと課題がありました。一方、

「SATO V トラップ」では、排水管をV字型にまっすぐ配置し、排泄物が詰まるリスクを軽減するとともに、ピットの切り替えも容易になります。さらに、汚物を流すのに必要な水の量は、従来型のトイレと比較して約8割以下に減少します。

「SATO V トラップ」は、インドのマディヤ・プラデーシュ州およびウッタル・プラデーシュ州の2つの州ですでに販売が開始されており、向こう3か月間で、さらに8つの州へ提供地域を拡大する予定です。

「SATO V トラップ」については、下記URLから動画もご覧いただけます。

「Time for Global Action (LIXIL 編、6分版)」(日本語字幕版) : <https://youtu.be/fFgt3KwB5oY>



LIXIL グループの執行役専務 Jin Montesano のコメント

「LIXIL グループでは、インドをはじめ、世界各地で衛生環境の改善に向けた取り組みを推進してきました。インド政府が掲げる『スイッチ・バーラト・ミッション』に賛同し、衛生問題の危機的状況を改善するため、活動をさらに強化することで社会への貢献を目指しています。安全性を高めた革新的なソリューションを低価格で提供することで、屋外排泄撲滅に向けたインドの取り組みを支援していきます」

LIXIL グループは、2020年までに世界で1億人の衛生環境を改善するという目標を掲げ、積極的な取り組みを続けています。SATO ブランドの製品に加え、「ポータブルトイレシステム」をはじめとした複数の衛生ソリューションの開発を進めており、詳細は当社ウェブサイトでご紹介しています。

(<http://www.lixil.com/jp/sustainability/activities/sanitation.html>)

■ LIXIL、LIXIL グループについて

LIXIL について

株式会社 LIXIL は、戸建住宅・マンションからオフィス・商業施設などの非住宅向けに、多岐にわたる建材・設備機器および幅広い住関連サービスを提供するグローバル企業です。LIXIL、American Standard、GROHE、DXV、INAX、Permasteelisa をはじめとする業界をリードする数々のブランドを有し、水まわり製品から内外装建材をはじめとする先進的な製品・サービスの提供を通じて、世界中の人びとのより豊かで快適な住まいと暮らしの実現に貢献しています。現在、世界 150 カ国以上で事業を展開し、70,000 人超の従業員を擁しています。

LIXIL ウェブサイト：<http://www.lixil.co.jp/>

LIXIL グループについて

株式会社 LIXIL グループ（証券コード：5938）は、中核事業会社である株式会社 LIXIL をはじめ、株式会社 LIXIL ビバ、株式会社 LIXIL 住宅研究所などを傘下に持つ持株会社で、東京証券取引所および名古屋証券取引所に上場しています。多岐にわたる建材・設備機器の製造、販売に加え、ホームセンター事業や住宅フランチャイズチェーンの運営、不動産サービスなど、幅広い住関連サービスを展開しています。2017 年 3 月期の連結売上高は 1 兆 7,864 億円*です。

LIXIL グループウェブサイト：<http://www.lixil.com/jp/>

※国際会計基準（IFRS）ベース